

平成23年度 産学官連携支援事業に3件を採択!

市内事業者と県立広島大学との共同連携

平成23年度の産学官連携支援事業として、次の3件を採択しました。県立広島大学との連携により、1年後には有益な成果が得られていることを期待しています。

口腔障害リハビリ

～株式会社ルピナス～

口腔機能のリハビリ用品の「吹き戻し」が、吹く回数・訓練時間数で、具体的に顔及び口腔部の筋肉のどの筋力を強化できるかの数値化の立証、検証を県立広島大学保健福祉学部と取り組みます。

数値化立証がされれば、「吹き戻し」の効果を鮮明に理解してもらうことができ、商品需要へ結びつくことに繋がると期待されます。さらには、医療・介護分野に加え、美容業界への普及も目指す計画があります。

手のひら点訳支援

～ソフト工房 shinke.net～

スマートフォンなどのポータブルデバイスで動く点訳支援ソフトの開発に向け、県立広島大学の経営情報学部と技術開発に取り組みます。

コンピュータ等の計算機を用いた自然言語処

理の基礎技術である、形態素解析手法を応用し、スマートフォンなどで利用できる点訳支援ソフトが開発されることにより、障害者福祉の向上などが期待されます。また、さまざまな分野で利用できる応用ソフトの開発も期待されています。

「ちしゃとう」を使った食品開発

～大津建設株式会社～

大津建設株式会社は建設業として操業されています。今回は、新たな経営革新の取組として、耕作放棄地を利用した「ちしゃとう」の生産と食品開発を、県立広島大学生命環境学部と取り組みます。

「ちしゃとう」は「山くらげ」の名称で知られています。地元の耕作放棄地を利用し、安定栽培手法の確立と、更には成分分析、効能検証、食品開発へとつなげていかれる予定です。

耕作放棄地の解消と、新たな雇用の創出、地域特産品開発などが期待されます。

以上のような産学官連携の推進により、新たな価値が創造され、三次市の産業振興と地域活性化につながるものと思います。

視察で新たなビジネスのヒントを!～第6回信用金庫合同ビジネスフェア～

高品質!優れた技術のオンリーワン企業の工場見学も実施

平成23年11月15日に三次イノベーション会議の会員に呼びかけ、第6回信用金庫合同ビジネスフェアを視察しました。このフェアには県内全域から307企業・大学・機関の出展があり、地域ならではの「商品」「特産品」「技術」「サービス」などが紹介され、多くのバイヤーを招いての大商談会の場となっています。三次市内の企業・団体からも出展があり、販路拡大に向け取り組んでおられました。次回も三次から多くの事業者が出展されることを期待したいところです。

また、視察にあわせて、広島市にある「株式会社ヒロテック」の工場見学も実施しました。「株式会社ヒロテック」は自動車ドア等の自動車部品の国際的シェアを誇り、広島県のオンリーワン企業としても有名です。顧客のニーズに応じたモノづくりの技術は驚きでした。

県立広島大学教員紹介

今回ご紹介するのは、保健福祉学部作業療法学科 ^{こんどつ}近藤 ^{まことし}敏教授です。

専門分野：作業療法（身体障害，高齢者領域）

私は作業療法士（Occupational Therapist）です。作業療法士は医療職として、多くの医療機関や老人保健施設、通所施設等で、患者さんや障害をもたれた方々のリハビリテーションに携わっています。また、最近では介護予防やヘルスマナープロモーション、特別支援教育に関わる作業療法士も増えています。

作業療法の健康観は、疾病・障害の有無や程度に関わらず、その人にふさわしい作業（仕事、趣味・遊び、役割）ができることにあります。頸随損傷による四肢麻痺や脳卒中による片麻痺、慢性関節リウマチによる関節の動きの制限をもたれた方々が、自分にふさわしい作業が再びできるようになるためには、様々な工夫が必要で、その際、残された機能の活用や自助具・福祉用具は作業療法の有効な手段です。

近年、こういった障害をもたれた方だけでなく、健康な方を対象とした転倒予防や認知症予防が盛んになり、私もその指導を行っています。しかし、効果的なプログラムについても成果指標についてもこれからです。



また、高齢化に伴い、認知症が急増し、なかでも一人暮らしの認知症高齢者の問題が起こっています。身体障害者と異なり、認知症高齢者には活動性の高い人も多く、周囲の心配をよそにお仕事大好きなのです。こども達と遠く離れ、施設福祉サービスなど、周囲の勧めにも関わらず、自宅で住み続けることを望むこのような高齢者をどのように地域で支えていったらよいのでしょうか。私自身、故郷に同じような実母を持ち、遠距離ケアを行っています。多少のトラブルやリスクを抱えながらもなんとか住み慣れた地域で暮らしていけないか、その方策について保健医療の立場から提案していきたいと考えています。

産学官連携に関する相談，お問い合わせ先

三次イノベーション会議

事務局 **三次市産業部商工振興課**

Tel:0824(62)6171 Fax:0824(64)0172
E-Mail : syukou@city.miyoshi.hiroshima.jp

三次商工会議所

Tel:0824(62)3125 Fax:0824(63)5200
E-Mail : info@miyoshi-cci.or.jp

県立広島大学庄原地域連携センター

Tel:0824(74)1704 Fax:0824(74)0191
E-Mail : gaku.jutu@pu-hiroshima.ac.jp

三次広域商工会

Tel:0824(44)3141 Fax:0824(44)3390
E-Mail : miyoshi@hint.or.jp